

令和 7 年度広島県立総合技術研究所
利用者アンケート調査（令和 6 年度利用分）について

1 調査概要

(1) 目的

総合技術研究所（以下「総研」という。）をご利用いただいた方の満足度や経営への貢献額をお伺いし、総研の自己評価に役立てるとともに、ご要望やご意見をもとに、今後の支援サービスの内容充実や質的向上を図る。

(2) 調査対象

令和 6 年度に総研において、設備利用（センターの保有機器・設備）、依頼試験、技術的課題解決支援事業（ギカジ）、共同研究、受託研究、人材育成の各支援メニューを利用された方（事業者、個人等）。

(3) 調査方法

対象者（669 者）へ調査用紙を郵送し、広島県ホームページ又は FAX による回答により収集した。

調査期間：令和 7 年 6 月 2 日～7 月 31 日

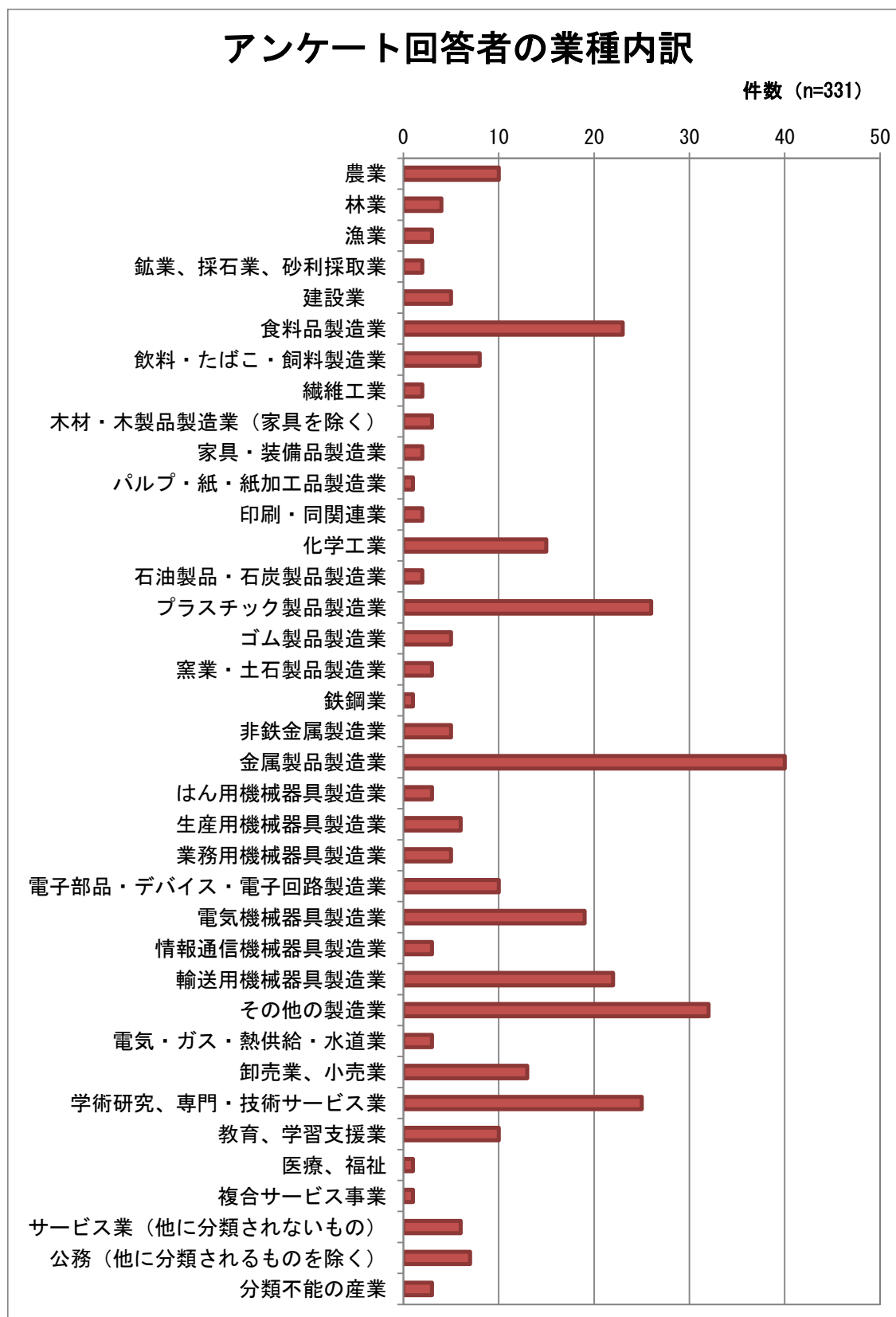
(4) 回答状況

回答者数：331 者（回答率 49.5%）

2 調査結果概要

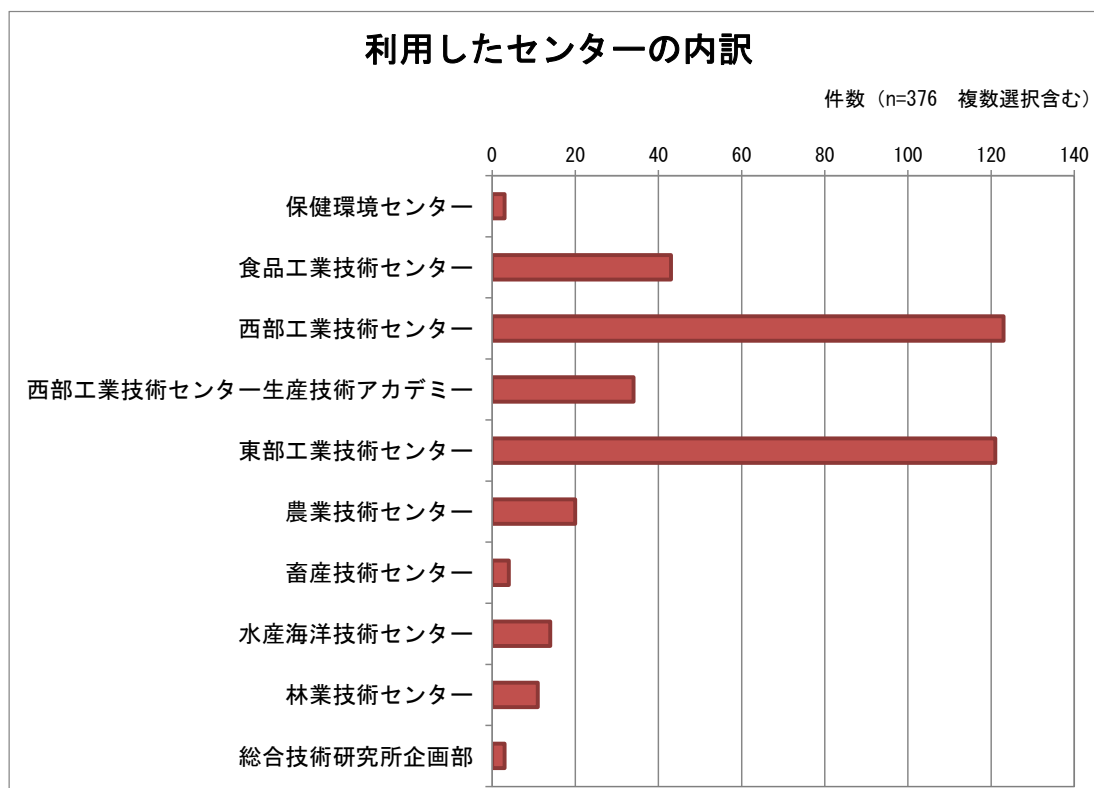
(1) 業種内訳

製造業、学術研究、専門・技術サービス、卸売業・小売業等の回答者が多い。過去の結果から大きな変化はない。



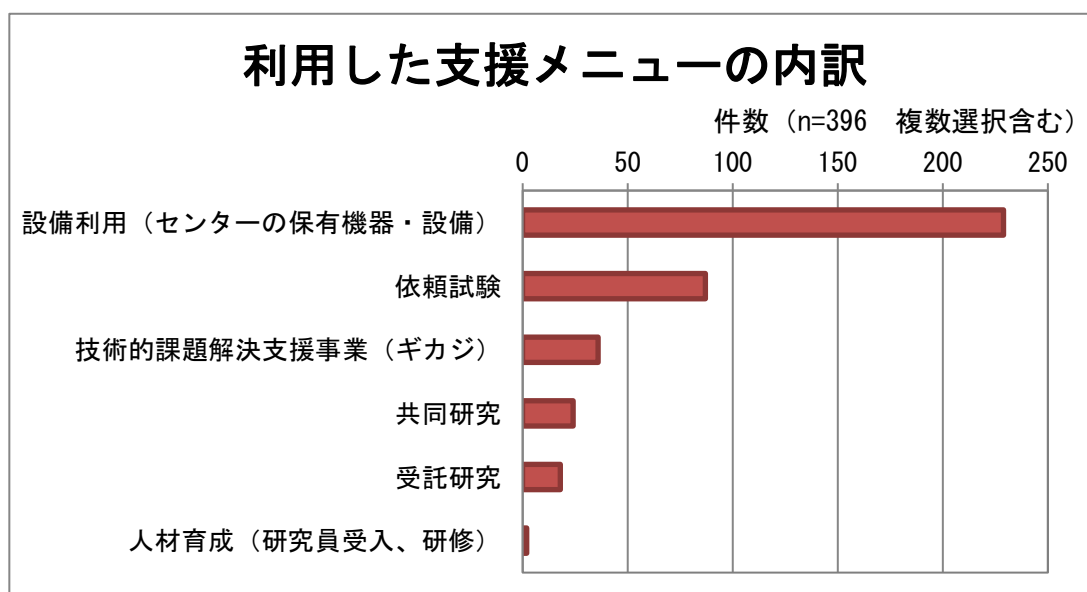
(2) 利用したセンター

全体回答数の約 85%が工業系センター（食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター）となっている。



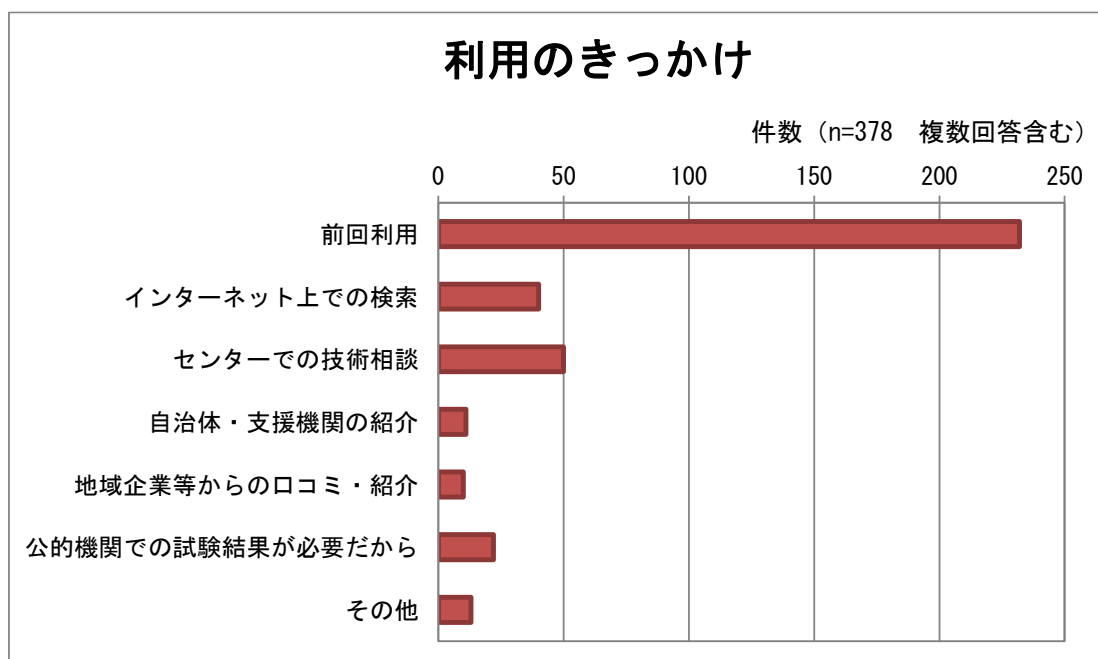
(3) 利用した支援メニュー

「設備利用」、「依頼試験」の回答が多くなっている。



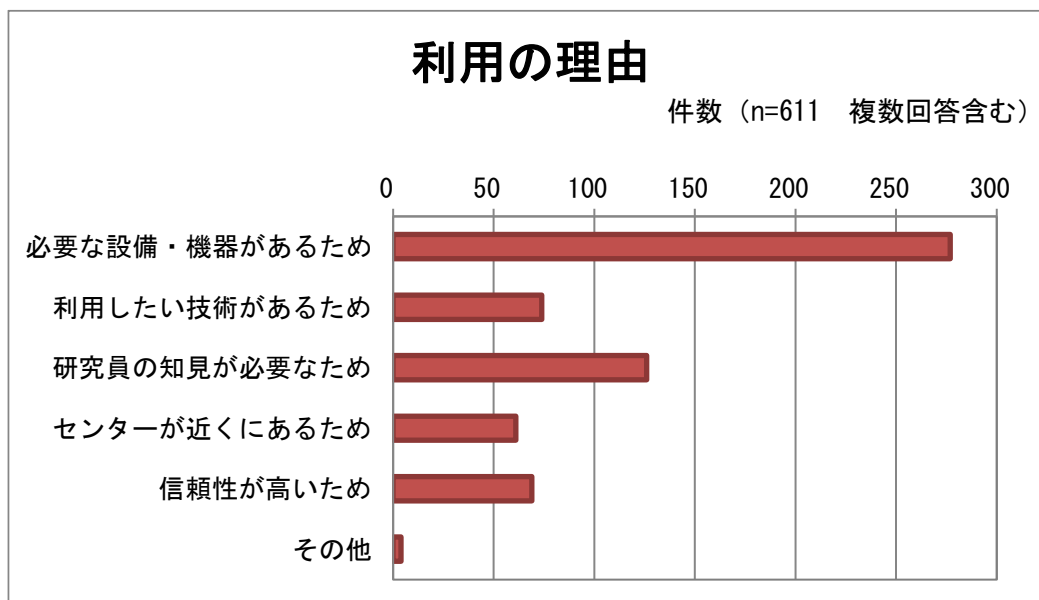
(4) 利用のきっかけ

「前回利用」したことによるリピートのほか、「センターでの技術相談」、「インターネット上での検索」がきっかけとなっている。



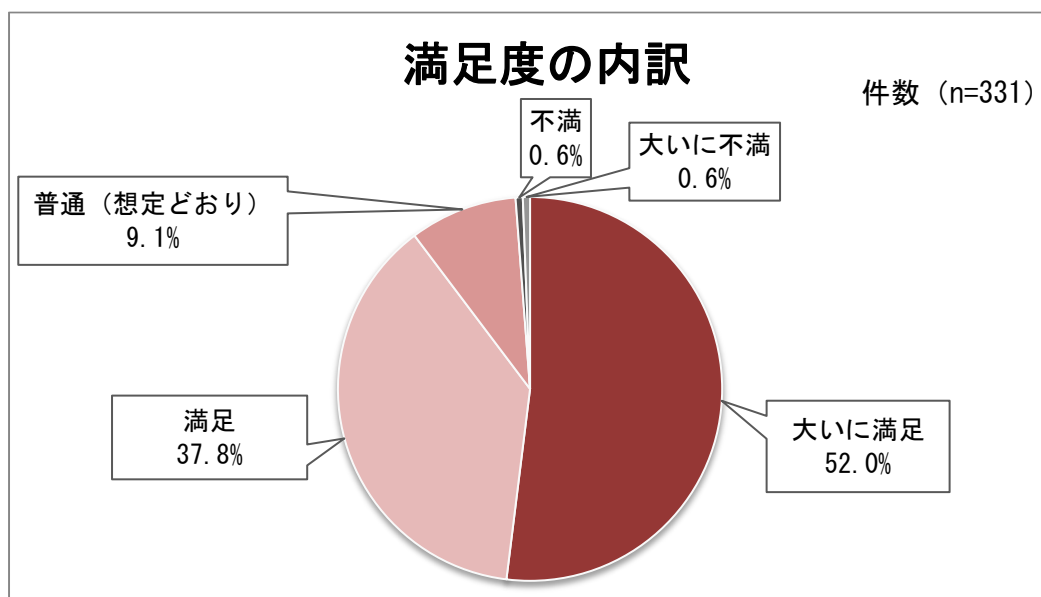
(5) 利用の理由

「設備」、「研究員の知見」があることが、主な利用の理由となっている。



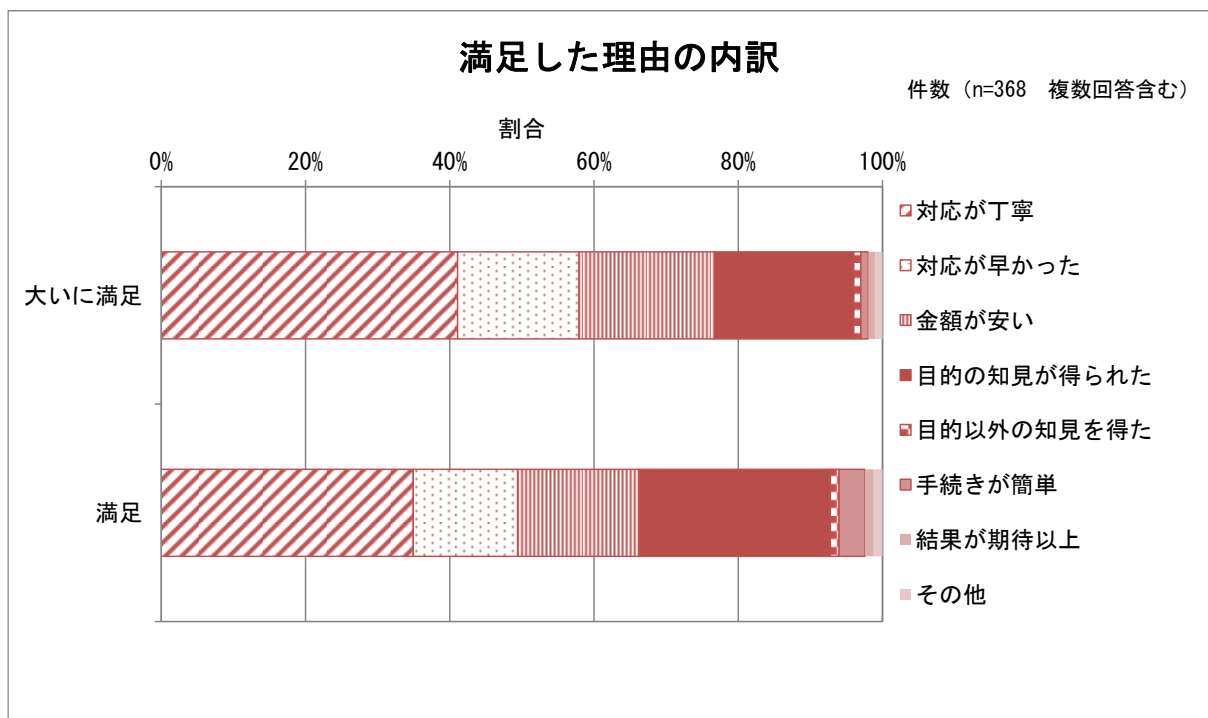
(6) 満足度

全体回答数の約 90%が「大いに満足」又は「満足」と回答している。



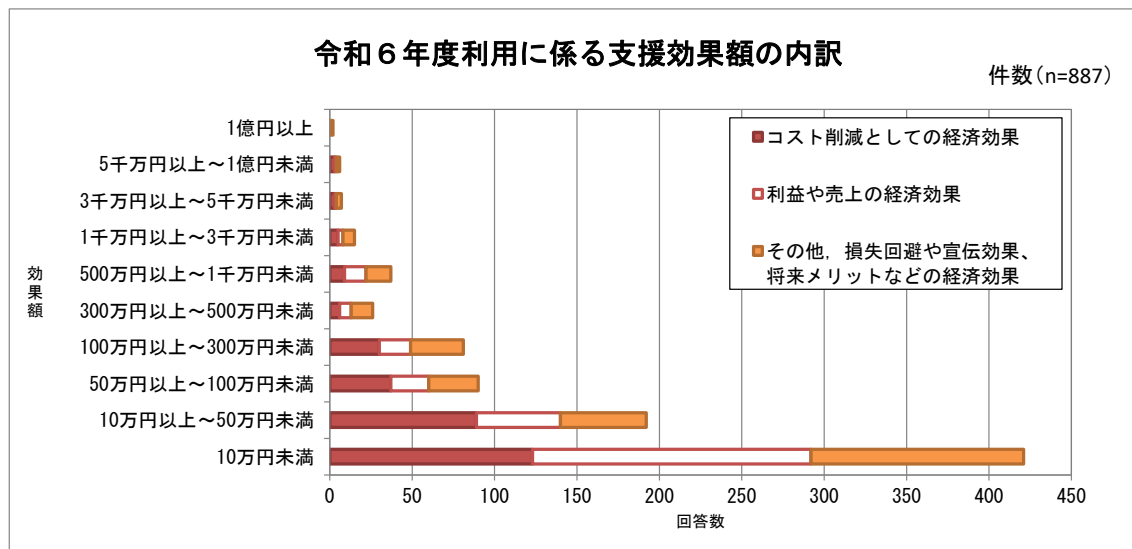
(7) 満足した理由

「対応が丁寧」、「目的の知見が得られた」という割合が多くなっている。



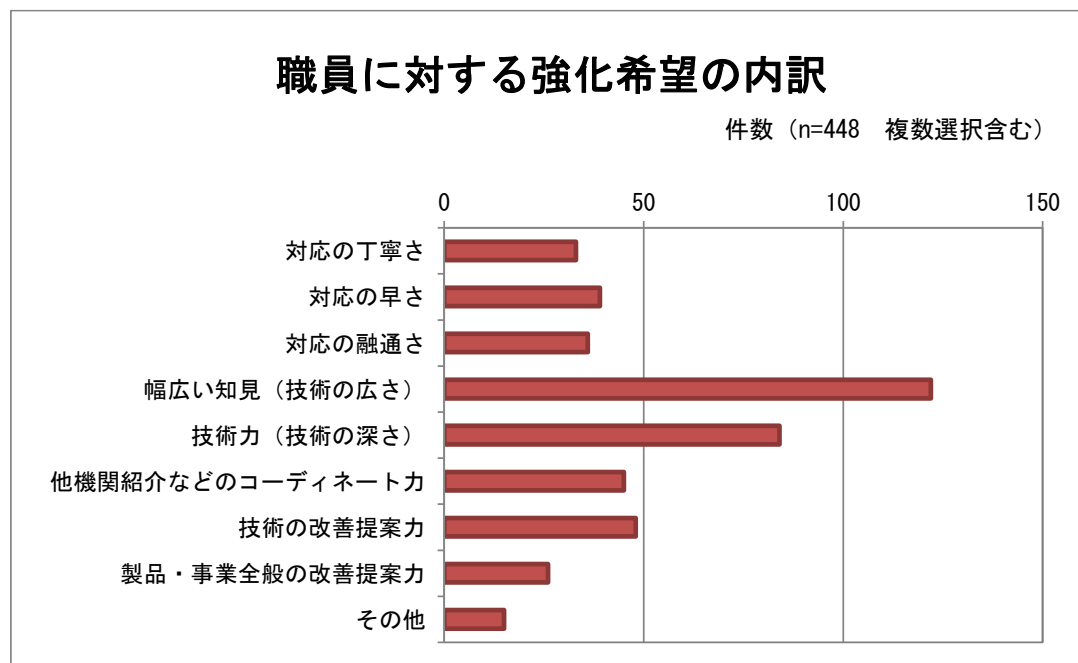
(8) 支援効果額

1 者当たりの支援効果額は、約 13,669 千円／者となっている。



(9) 職員への強化希望

総研の職員に対しては「幅広い知見（技術の広さ）」や「技術力（技術の深さ）」が求められている。



(10) デジタル技術への取組

アンケート回答者のデジタル分野への取組状況は、約 79%が「既に取り組んでいる」又は「今後取り組む予定」と回答した一方、約 21%が「現状取り組む予定はない」と回答した。

表 デジタル技術への取組状況

	回答数	割合
既に取り組んでいる	136	43%
必要性を感じており、今後取り組む予定	113	36%
必要性を感じているが、現状取り組む予定はない	51	16%
必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない	16	5%

総研のデジタル技術への取組に関して、約 24%が「知っている」と回答した。また、総研によるデジタル技術への支援について、「活用したことがある」又は「活用したことはないが、今後したいと思う」と回答した者は、約 46%であった。

表 総研のデジタル技術取組の知名度

	回答数	割合
知っている	78	24%
知らない	242	76%

表 総研のデジタル技術活用状況

	回答数	割合
既に活用したことがある	16	5%
活用したことはないが、今後したいと思う	126	41%
活用する予定はない	169	54%

(11) AI（人工知能）の活用状況

近年利活用が進んでいる AI（人工知能）の活用状況について、各事業者の状況を聞いた。約 67%が「既に活用している」又は「今後活用する予定」と回答した。

表 AI（人工知能）の活用状況

	回答者	割合
既に活用している	85	27%
今後活用する予定	123	40%
現状活用する予定はない	103	33%

(12) その他意見

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

ア 感謝等に関するもの（抜粋）

○職員の方の対応が非常に丁寧である。質問に対して、わかりやすく説明してくださいました。

○スピーディーにご対応いただき大変たすかりました。

イ 改善などの要望（抜粋）

【保有設備関係】

○どのような支援メニューや補助金、貸し出し設備等があるか、もっと積極的に発信（DMやメールなど）してお知らせ頂けると大変助かります。

○今後の新規設備の導入等が有れば、是非情報展開頂けると幸いです。

○施設見学ツアーなど設備と技術などの紹介をしていただきたい。

→ 積極的な情報発信に努めてまいります。設備に関しては、各センターのホームページにて情報発信しているほか、定期的に保有技術、機器のセミナーを行っておりますので、御活用ください。

○各機関のすべての設備が一覧でみられるようなページを作成してほしい。

→ 食品工業技術センター、西部工業技術センター及び東部工業技術センターの保有設備は、「広島県広島市工業技術センター共有ポータルサイト」に一覧がございます。また、経済産業省ホームページから各センターの保有設備が検索可能となっておりますので御活用ください。

共通ポータルサイト (<https://www.itc.city.hiroshima.jp/renkei/>)

経済産業省 (<https://www.meti.go.jp/kousetsushi/top>)

【支払関係】

○支払方法を増やしてほしい

○試験の支払いの方法が窓口か金融機関の窓口となるので総務の方が困っていました。

→ 令和5年4月1日より、「依頼試験」、「設備利用」に関して、「Pay-easy（ペイジー）」「クレジットカード」「QRコード決済等」を利用した電子納付が可能となっています。電子納付には広島県電子申請システムを利用して申請手続、納付手続をしていただく必要があります。詳しくは広島県ホームページをご覧ください (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/dennshi-noufu.html>)。

その他のメニューに関しては、現金又は納入通知書でお支払いをいただいております。お手数をおかけしますが、よろしくお願いします。メニューごとの支払方法の詳細はホームページをご覧ください (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachmen/556567.pdf>)。

【試験結果】

○時間が掛かりすぎと思います。民間の希望する納期とは少し開きがあります。

→ 御希望の納期とならず、大変申し訳ございません。御利用いただくメニュー、内容によって、御時間をいただく場合がございます。納期の目安については、御利用前にセンターの担当者に御確認ください。御利用いただく御担当者様とコミュニケーションを取り、可能な限り早く結果を出せるよう進めてまいります。

R7年度広島県立総合技術研究所 ご利用アンケート調査（R6年度利用分）

令和6年度の総研ご利用分について回答してください。
県のHP上で、便利に回答することができます（右二次元コード先）。
又は「総合技術研究所 ご利用アンケート調査」で検索。
利用者が複数名おられる場合は、利用者ごとにご回答ください。
（FAXの場合、お手数ですが、コピーしてお使いください）



Q1 貴社名（貴名）を記入してください（必須）

例）〇〇株式会社〇〇事業所

Q2 業種を選択してください。（必須、1つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

- ☐農業 ☐林業 ☐漁業 ☐鉱業、採石業、砂利採取業 ☐建設業 ☐食料品製造業
☐飲料・たばこ・飼料製造業 ☐繊維工業 ☐木材・木製品製造業（家具を除く）
☐家具・装備品製造業 ☐パルプ・紙・紙加工品製造業 ☐印刷・同関連業 ☐化学工業
☐石油製品・石炭製品製造業 ☐プラスチック製品製造業 ☐ゴム製品製造業
☐なめし革・同製品・毛皮製造業 ☐窯業・土石製品製造業 ☐鉄鋼業 ☐非鉄金属製造業
☐金属製品製造業 ☐はん用機械器具製造業 ☐生産用機械器具製造業 ☐業務用機械器具製造業
☐電子部品・デバイス・電子回路製造業 ☐電気機械器具製造業 ☐情報通信機械器具製造業
☐輸送用機械器具製造業 ☐その他の製造業 ☐電気・ガス・熱供給・水道業
☐情報通信業 ☐運輸業、郵便業 ☐卸売業、小売業 ☐金融業、保険業
☐不動産業、物品賃貸業 ☐学術研究、専門・技術サービス業 ☐宿泊業、飲食サービス業
☐生活関連サービス業、娯楽業 ☐教育、学習支援業 ☐医療、福祉 ☐複合サービス事業
☐サービス業（他に分類されないもの） ☐公務（他に分類されるものを除く） ☐分類不能の産業

Q3 昨年度ご利用のセンターを選択してください。（必須、複数選択可）

- ☐保健環境センター ☐食品工業技術センター ☐西部工業技術センター（生産技術アカデミー含まず）
☐西部工業技術センター生産技術アカデミー ☐東部工業技術センター ☐農業技術センター
☐畜産技術センター ☐水産海洋技術センター ☐林業技術センター ☐総合技術研究所企画部

Q4 昨年度ご利用の支援メニューを選択してください。（必須、複数選択可）

- ☐設備利用（センターの保有機器・設備） ☐依頼試験 ☐技術的課題解決支援事業（ギカジ）
☐共同研究 ☐受託研究 ☐人材育成（研究員受入、研修）

Q5 ご利用のきっかけを選択してください。（複数選択可）

- ☐前回利用 ☐インターネット上での検索 ☐センターでの技術相談
☐自治体・支援機関の紹介 ☐地域企業等からの口コミ・紹介 ☐公的機関での試験結果が必要だから
☐その他

Q6 ご利用の理由を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 必要な設備・機器があるため ☐ 利用したい技術があるため ☐ 研究員の知見が必要なため
☐ センターが近くにあるため ☐ 信頼性が高いため ☐ その他

Q7 センターの支援メニューをご利用の結果、満足度はいかがですか。(必須、1つ選択)

- ☐ 大いに満足 ☐ 満足 ☐ 普通(想定どおり) ☐ 不満 ☐ 大いに不満

Q8 Q7で満足(不満足)とした理由を選択してください。(最大2つ選択)

- ☐ 対応が丁寧(不十分) ☐ 対応が早かった(遅かった) ☐ 金額が安い(高い)
☐ 目的の知見が得られた(得られなかった) ☐ 目的以外の知見を得た(得られなかった)
☐ 手続きが簡単(煩雑) ☐ 結果が期待以上(期待未満) ☐ その他

Q9 支援メニューを申請してからレポートや測定が終わるまでに要した時間を選択してください。

(複数選択可)

- ☐ 1～3時間 ☐ 1日 ☐ 2～3日
☐ 1週間程度 ☐ 2～3週間 ☐ 数か月程度
☐ 半年 ☐ 1年 ☐ 1年以上

Q10 昨年度、総研を利用したことによる貴社(貴方)の経済効果についてお答えください。

コスト削減としての貢献額をお教えてください。(1つ選択)

- 例1) 装置使用や依頼試験により、自社で試験を実施する場合に比べて、設備投資費や人件費を〇〇万円削減することができた。
例2) 民間の専門分析機関や研究機関へ対応相談や試験依頼をした場合と比べ、〇〇万円の経費削減につながった。
例3) 技術的な知見を習得することができ、自社の人材育成に関する経費を〇〇万円圧縮できた。

- ☐ 10万円未満 ☐ 10万円以上～50万円未満 ☐ 50万円以上～100万円未満
☐ 100万円以上～300万円未満 ☐ 300万円以上～500万円未満 ☐ 500万円以上～1千万円未満
☐ 1千万円以上～3千万円未満 ☐ 3千万円以上～5千万円未満 ☐ 5千万円以上～1億円未満
☐ 1億円以上(Q11にもご回答ください)

Q11 Q10で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を記入してください。(単位 億円)

億円

Q12 利益や売上の増加について、貢献額をお教えてください。(1つ選択)

- 例1) 品質の維持・向上のための課題解決により、売上高が〇〇万円向上した。
例2) 依頼試験や、委託研究により製品開発に貢献し、〇〇万円の売上高に貢献した。

- ☐ 10万円未満 ☐ 10万円以上～50万円未満 ☐ 50万円以上～100万円未満
☐ 100万円以上～300万円未満 ☐ 300万円以上～500万円未満 ☐ 500万円以上～1千万円未満
☐ 1千万円以上～3千万円未満 ☐ 3千万円以上～5千万円未満 ☐ 5千万円以上～1億円未満
☐ 1億円以上(Q13にもご回答ください)

Q13 Q12で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力：単位 億円)

億円

Q14 その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの貢献額をお教えてください。(1つ選択)

- 例1) 不具合などの原因究明に対応でき、将来的な損失を〇〇万円回避できた。
例2) 製品の評価や品質管理の結果、試験結果を宣伝できたため、〇〇万円の貢献があった。
例3) 研究開発・製品化・事業実施の判断に役立てることができ、研究開発費として〇〇万円の価値がある。

- ☐ 10万円未満 ☐ 10万円以上～50万円未満 ☐ 50万円以上～100万円未満
☐ 100万円以上～300万円未満 ☐ 300万円以上～500万円未満 ☐ 500万円以上～1千万円未満
☐ 1千万円以上～3千万円未満 ☐ 3千万円以上～5千万円未満 ☐ 5千万円以上～1億円未満
☐ 1億円以上 (Q15にもご回答ください)

Q15 Q14で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力：単位 億円)

億円

Q16 総研の職員に対して、特に強化してほしい部分を選択してください。(最大2つ選択)

- ☐ 対応の丁寧さ ☐ 対応の早さ ☐ 対応の融通さ
☐ 幅広い知見(技術の広さ) ☐ 技術力(技術の深さ) ☐ 他機関紹介などのコーディネート力
☐ 技術の改善提案力 ☐ 製品・事業全般の改善提案力 ☐ その他

Q17 今後のご利用に当たり、強化してほしい技術分野、支援メニュー等があれば記入してください。

(自由記入)

※〇〇の分析技術、〇〇分野におけるデジタル技術、〇〇設備の導入 など

Q18～Q24はデジタル技術への取り組みについてお答えください。

Q18 貴社(貴名)の事業における、デジタル技術への取り組み状況について選択してください。(1つ選択)

- ☐ 既に取り組んでいる ☐ 必要性を感じており、今後取り組む予定
☐ 必要性を感じているが、現状取り組む予定はない ☐ 必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q19 総研がデジタル技術の活用に資する研究開発・支援を行っていることをご存じですか。(1つ選択)

(参考：「広島総研 DX 取組事例発表会」、URL：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/dx-r5-recital.html>)

- ☐ 知っている ☐ 知らない

Q20 貴社（貴方）の事業におけるデジタル技術活用に対して、総研による支援を活用したいと思いますか。

（1つ選択）

☐既に活用したことがある ☐活用したことはないが、今後したいと思う ☐活用する予定はない

Q21 デジタル技術の活用に関して、課題、今後総研で取り組んでほしい分野、共同で取り組みたい課題、期待する支援内容等があれば記入してください。（自由記入）

※〇〇分野のデジタル技術の研究、〇〇のデジタル化、デジタル技術に関する研修 など

--

Q22 貴社（貴名）の事業におけるAI（人工知能）の活用状況について選択してください。（1つ選択）

※効率化、自動化、データ解析等

☐既に活用している ☐今後活用する予定 ☐現状活用する予定はない

Q23 既にAI（人工知能）を活用している産業分野、用途について記入してください。（自由記入）

--

Q24 今後AI（人工知能）を活用したい産業分野、用途について記入してください。（自由記入）

--

Q25 センターへ、その他ご意見があれば記入してください。（自由記入）

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

--

Q26 回答者のご所属、お名前を記入してください。（必須）

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。集計結果は夏ごろホームページにて公開する予定です。

総研では引き続き事業者の皆様の支援を行っております。お気軽に各センター又は企画部までお問い合わせください。

近秋、総研のデジタル技術の活用に資する研究開発・支援の例をまとめた発表会を開催予定です。詳細は今後ホームページに掲載予定です。是非ご覧いただき、ご活用ください。